

### Ⅲ 総括評価

最後に、アンケートから日本青年のコメントを抜粋し、今回の総括評価をまとめる。

「プログラム全体を通して、最も印象的だったことは何ですか」の問いに対して、「外国参加青年と共に一つのプレゼンテーションを作り上げられたことが最も印象的でした。発表者であった私は自信があまりなく少し不安でしたが、皆が一緒に文の表現やまとめ方を考えてくれたことで無事プレゼンテーションを終えることができた。」「国を超えたグループワークで、協力する姿勢と思いやりを、身を持って感じることもあった。」などのコメントがあった。

このことから、目的を持って協働する実体験により促される自己の成長や、他者からの気遣いに自分も気付き、そして自分も他者を気遣うことによりチームづくりが醸成されることを経験できる貴重な機会を提供する本事業の価値は非常に大きいと考える。

「プログラム全体を通して、感想や改善点など意見があれば自由にご記入ください」の問いに対して、「短い期間だったが、本当に手厚いサポートを用意してくださり大変感謝している。普段は経験できないようなチーム作りや目標達成を体験できとても良い経験になった。」「全体的にはスケジュールがタイトとなっている点が課題であると感じた。ただ、オンラインならではのメリットをいかしたとても良い企画だと思うので、少しでも改善して来年以降はさらに良いものになるようお願いしている。」「やはり、対面で行いたいというのが本音。しかし、このような状況下において企画、運営してくださり本当にありがたい。失敗経験も含めてすべて学びとなった。本当に貴重な経験だった。」とのコメントがあった。

このことから、現在新型コロナウイルスの影響により海外留学の機会や、国内外の交流活動は非常に限定的になっており、オンライン交流を活用したプログラムは、学生及び社会人にとって互いに学びあえる貴重な機会を与えていると考察できる。

以上、評価結果から導き出せることは、本事業の目的である「国際協調の精神と坎養と国際協力の実践力を向上させることにより、国際社会での指導性を発揮で

きる青年を育成するとともに、青年による社会貢献活動への寄与」に関して、日本参加青年は交流国への理解が促進され、ディスカッションを通じた問題解決能力の向上、リーダーシップ発揮に必要な能力向上に高い満足度を示すなど、十分な成果を収めたものと評価できよう。